



ウィルスの活動は拡大しつつありました。社内の感染事例はそれほど多くはありませんでしたが、ネットワークへの依存度が高まり、ウィルスに感染したトラフィックが増加しつつあったことが、メッセージラボのサービスを検討する契機となりました。メッセージラボのモデルは、このような問題に対処するための正しい選択です。適切で極めて効率的なモデルです。

Nick Price氏
技術担当ディレクタ

マンダリン オリエンタル ホテル グループ

マンダリン オリエンタル ホテル グループ

マンダリン オリエンタル ホテル グループには、それまで社内のメールネットワークに特別なウィルス スキャン システムは導入されていませんでした。同グループでは、新にウィルス スキャン テクノロジーを購入して社内で管理するか、それともアウトソースするかを決定する段階にありました。メッセージラボのサービスを検討したところ、優れたサービスモデルであると判断できたため、自信を持ってメッセージラボ アンチウィルス サービスを契約しました。

マンダリン オリエンタル ホテル グループは、アジア、ヨーロッパ、アメリカに18のホテル、7,000室以上の客室を有する定評のある一流ホテルグループです。「マンダリン オリエンタル香港」や「オリエンタル バンコク」をはじめとする同グループの主力ホテルは、世界的にも有名な最高級ホテルです。

同グループの経営陣は、常に一流であることを目指し、顧客向けの商品およびサービスの多様化を図っていましたが、グループが今後も成長を続け、グローバル化してゆくにつれ、ウィルスの攻撃にさらされる危険も高まることに気づきました。

メッセージラボ アンチウィルス サービス — 多くを語る必要のない自明の優秀さ

マンダリン オリエンタル ホテル グループの技術担当ディレクタ、Nick Price氏は次のように述べています。「当社が求めていたのは、ウィルスの心配のないメールを保障してくれる最良のソリューションを入手したいという、ごく単純なことでした。メッセージラボのサービスを検討したとき、ついにそれを見つけたと確信しました。」

グループにとっては、ウィルスの心配のないメールを送受信できるようにすることが第一の要件でしたが、同氏はウィルス対策ソリューションに求める基準として、さらに幅広い要件を設定していました。

自を守る必要性からメッセージラボのサービスを導入しましたが、可能な限り総合的な防御策を実現できたと考えています。

「私たちは、新種のウィルスにも迅速に対応できること、大量のメールを処理できること、そしてメッセージをスムーズに処理できることを求めました。もちろん、メールが紛失するようなことがないこと、また添付ファイルの種類に制限がないことも重要な要件でした。」

メッセージラボは最適な選択肢

「メッセージラボ アンチウィルス サービスが当社にとって最適のサービスであることはすぐに明らかになりました。メッセージラボには優れたユーザ導入事例があり、同社がこの分野におけるエキスパート企業であることは実証済みでした。」

「サービスの導入は容易で、業務への大きな影響はなく、当社側でのトレーニングを実施する必要もありませんでした。セットアップ、立ち上げ、テストも容易で、サービスのテストは1回で問題なく終了しました。自分たちの判断が適切で効果的であったことがすぐに確認できたのです。」

「グローバル企業である当社にとって、メッセージラボのタワー モデルと呼ばれるインフラ構成は、極めて冗長性が高く、適切なモデルであると考えています。メッセージラボは、世界中のウィルス発生を監視してその脅威からすべてのユーザを即座に保護する能力を持つ企業として、独自の強力な地位にあります。」

「メッセージラボのサービスは申し込んでから利用できるようになるまで24時間かかりません。ウィルスの脅威を理解した人々が選ぶとすれば、このサービスになるでしょう。それほど強力なサービスです。」 Price氏はさらに、メッセージラボのサービスは設備投資の必要がないため、市販のソフトウェアを購入して社内で構築するといった非効率的なソリューションと比べて、価格面でも有利であると指摘します。

ROIを視野に

「当社は、自分たちに代わってウィルスを対処してくれるサービスを求めています。それが、当社の基本的な要件でした。当初はセキュリティに不安がありましたが、実際にメッセージラボ アンチウィルス サービスを利用してみると、それまで利用していた ISP などの事業者よりも優るセキュリティが確保されることがわかり、不安は解消されました。また、社員の守秘義務が守られることにも満足できました。」

Price氏は、ウイルス対策のコストについて、次のように実利的な見方を持っています。

「ウイルス対策を行うことの得失は、実際に攻撃を受けたときのマイナス面を考えてみればわかります。ただ単にリスクを冒すことには何の価値もありませんが、一方で、ウイルス対策への投資対効果(ROI)の判断には質の問題が関わってきます。」

「何らかのウイルス攻撃が発生すれば、企業に甚大な被害が発生する危険性があります。被害額が具体的にどれほどに上るかは誰にも予想できないのではないのでしょうか。しかし、当社は24時間体制でサービスを提供するビジネスを展開しており、システムは常に稼働している必要があります。当社はこれまでウイルスによる大きな攻撃を受けたことはありませんが、ウイルスの問題が全般として深刻化しつつあるという兆候は十分に認識していました。自社を守る必要性からメッセージラボのサービスを導入しましたが、可能な限り総合的な防御策を実現できたと考えています。」